

自転車レーンの設計・運用上の留意点および整備効果について

コンサルタント国内事業本部 大阪支店 技術第一部 村戸伸行 他

○キーワード

自転車走行環境整備、自転車レーン、運用計画、自転車レーン詳細設計、整備効果検討

○概要

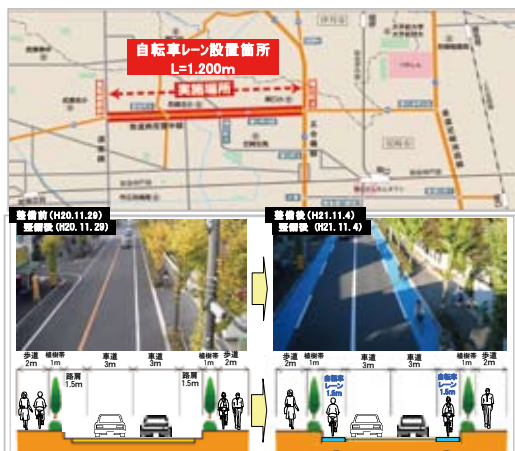
国土交通省の施策の1つである自転車通行環境整備のモデル地区となっている兵庫県尼崎地区において、地元住民・関係機関と合意形成を図りながら自転車レーンの設計・運用、整備効果のとりまとめを行った。安全性・走行性に留意し設計するとともに、利用促進・ルールの周知徹底のためのソフト施策を検討した。また、整備効果は、レーン整備前後の交通モード別の実態調査による効果検証を行った。事例の少ない自転車通行環境整備に関して、整備するうえでの課題を整理するとともに、整備手法、整備手順を明らかにした。

○技術ポイント

自転車レーンの設計・運用計画・効果検証にあたっての技術的ポイントは以下のとおりである。

- ① 安全性・走行性に留意した自転車レーンの設計
- ② 交通モード別の行動特性を踏まえた利用促進・ルールの周知徹底のためのソフト施策
- ③ 地域との同意形成を図った設計・運用計画の立案
- ④ 交通モード別の整備効果検証および課題の抽出

○図・表・写真等



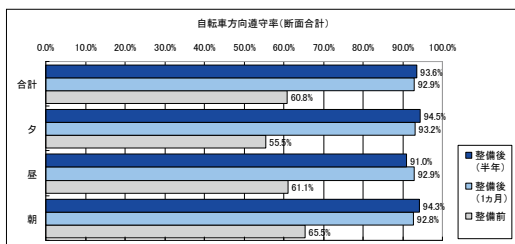
県道尼崎地区 自転車レーン整備概要



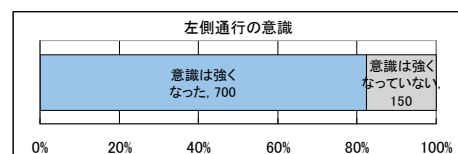
看板および電柱幕の設置状況



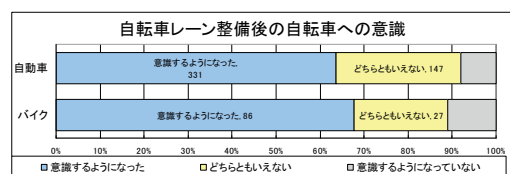
検討会実施風景



自転車方向遵守率



左側通行の意識(自転車)



自転車への意識